

カラオケ大会

五月四日、学園の食堂で音響機器を利用してカラオケ大会を実施しました。感染症対策の為、消毒や換気を実施し、少人数でのレクリエーションとなりましたが、多くの児童が参加し、流行りの曲や学校、幼稚園で聞いた曲を元気に歌っていました。

感染症に伴い制限のある中での遊びとなってしまいましたが、賑やかな歌声が少しでも気分転換になっていれば嬉しいです。

(保育士 後藤 圭介)



射的

五月二十三日に学園のホールで射的を行ないました。並べられた的を子どもは輪ゴム鉄砲で一生懸命狙っていました。なにせ景品がかかっていましたから。欲しい景品を手に入れるために年齢・性別関係なくみんな真剣でした。強く印象に残っているのは子どもがお互いを尊重している姿でした。順番を守り、輪ゴムを拾って渡し、腕前を褒め、欲しい景品を手

入れた子を祝福し一緒に喜ぶ姿がたくさんありました。賑やかでしたが、とても和やかな時間を過ごすことができました。(児童指導員 栗原 樹生)



レクリエーション

四月二十九日 学園のグラウンドにて、レクリエーション大会が行われました。高校生から幼児までたくさん子どもたちが参加をして、ボールや的当て・リレーを工夫した三種類の競技をチームに分かれて競い合いました。どれも白熱した勝負になり、学園の広いグラウンドは子どもたちの笑顔に包まれ、自粛期間中のちょっとした気分転換にもなりました。

(保育士 山本 佳代子)



風鈴作り

六月二十日、風鈴づくりをしました。ガラスで作る本格的なものではなく、小さい子どもでも作れるペットボトル風鈴で、十六名の子どもが参加をしました。

『夏の風物詩「風鈴」を自作し季節の過ごし方を体験する。そして真夏ではクーラーに頼らざるを得ないので、まだ風による清涼感を味わえるこの時期のうちに楽しむ』をコンセプトに実施しました。

作り方は、ペットボトルをハサミで半分に切り、マーカーやマスキングテープでデコレーション。短冊に好きな絵を描いて鈴を吊るせば完成です。手先の器用な子どもは、どんどん自分で作製する一方、苦手な子どもは悪戦苦闘しながら作っていました。

完成した風鈴を見て子どもたちは、「風が吹くとき綺麗な音がする」「キラキラ光って可愛い」と感想を述べていました。みんなに見てもらった後、早速ベランダや窓際に飾っていました。

(児童指導員 鈴木 一大)



七夕まつり

今年も学園のホールには大きな笹が飾られ、子どもたち・職員それぞれが願い事を短冊に書きました。今年の短冊には「コロナがなくなりますように」「コロナが終わっておでかけしたい」などの新型コロナウイルスにまつわる願い事が多く目立ちました。他にも「みんなの幸せが叶いますように」といった優しい願い事もあり、心が温まりました。子どもたちが書いた願い事が叶いますように。(保育士 綿貫 こころ)



交流

- ・学習支援 高橋 良重様、紀藤 信哉様
- ・ピアノ講師 安永 多嘉子様



第三十八回静岡県児童文化奨励絵画展で川奈臨海学園大快挙!



酒井鈴奈さん (六才)
題名「ケーキ屋さん」(金賞)
ケーキが大好きなのでケーキ屋さんの絵をかきました。金賞を取れてうれしいです。またケーキ屋さんの絵を描で金賞を取りたいです。



秋田愛乃さん (小六)
題名「光のさす方へ」(金賞)
初めて金賞をとったことで自分の成長を実感しました! 将来ジブリのアニメーターになるのでもっと絵の勉強をしたいと思います



菊池優芽さん (小二)
題名「おまつり、どうぶつもみてる」(金賞)
最初から金賞を狙っていましたが、本当に金賞を取れてとても嬉しいです! モモンガを描くのに苦労しました!



石谷瑠憂羅さん (中三)
題名「黄金のうたた寝」(銀賞)
初めてペイントナイフを使って絵を描きました。使い方は難しかったですが、上手に描けたので嬉しかったです。



アンジョス華蓮さん (中一)
題名「眼差し」(銅賞)
私は犬が大好きなので犬を描きました。輪郭を描くのにとても苦労しましたが、銅賞をとれてとても嬉しかったです。



Uさん (小六)
題名「屋台で釣り遊び」(銅賞)
釣りをしている所を描くのがとても難しかったけど、銅賞をもらうことができました! とても嬉しかったです!



鈴木拓斗くん (小一)
題名「うみのおさかな」(佳作)
ぼくは、おさかなが大好きなので、おさかなの絵をかきました。またいっぱい絵をかいて、絵画展に絵を出したいです。



飯塚惺来さん (小一)
題名「おすし」(佳作)
私は一人でかくのが好きなので、教えてもらわずに、最後までかきました。次もおすしをかいて、今度は金賞を取りたいです!

今年の絵画展は何と! 川奈から三人もの金賞受賞者が誕生しました! 川奈臨海学園の史上初めての快挙です! まず子どもたちに絵の指導をして下さった小塩先生に感謝を伝えたいです。絵画展に向けて努力している子どもたちにアイワ福祉財団様から

も画材を寄付して頂き、子どもたちは目を輝かせていました。今まで以上に絵を描きたくなったという子どもたちの声を聴き、係としては嬉しい限りです。本当にありがとうございました!

(児童指導員 岡 雅代)

